新型コロナウィルス感染症対策チェックリスト（卓球）

1. 事前の対応

□大会当日の体温、および大会前2週間における事項の有無を記入した「健康状況チェックシート」を当日受付で提出する

1. 大会運営の対応

□競技中以外はマスクの着用を義務付ける（審判の生徒・保護者・引率教員・学校関係者・競技役員も同様）

□引率教員、学校関係者は指定された観覧席で観戦する。その際、人と人との間は１席分ずつ空けて座る。前後もできるだけ距離をとる。またほかの学校の観覧席や通路や手すり付近へ移動して感染することはできるだけ避ける。

□無観客試合とする。

□健康状況チェックシートで体温が３７．５度以上あった生徒、引率教員、役員は参加を見合わせる。

□観覧席からの応援は拍手のみとする。

□本部での受付（本申し込み・健康状況チェックシート）や選手の試合結果の報告時に距離を置いて並べるようにする。

□受付で現金の授受を避けるように事前に集金する。

□開会式・閉会式はできるだけ縮小し、密接しての整列・集合などは行わない。表彰式は競技終了後に短縮しておこなう。

□卓球台はできるだけ間隔をとり、場合によっては台数を減らして実施する。（例年の半数の台数で行う）

□会場の出入り口に消毒用のアルコールスプレーを設置する。

□ハンドソープを1階2階のトイレに常設に加えて設置する。

1. 競技中の対応

□競技開始前の各校の練習は行わない。

□フロアでの次の試合の待機は十分距離をとったうえで行う。

□ゲームごとのチェンジエンドは行わない。

□ラケット交換は行わず、試合開始時のじゃんけんの際に使用ラバー、ラケットを口頭で宣言する。

（例：ラケットは〇〇〇で裏裏・バック粒など）

□試合後の握手は行わない。

□試合終了後、使用したボールは備え付けのペーパータオルで拭いてもどす。

□各コートに手指消毒用の消毒液を置き、試合前、後に消毒をする。

□ベンチコーチを行う場合は、コーチはマスクもしくはフェイスシールドなどの対策をしたうえでコーチをする。

□競技が終了した選手はできるだけ早めに体育館を出るようにする。

□顧問、引率教員は選手の保護者と連絡が取れる体勢をつくっておく。